

教育所修

主な内容

随想	1
講座案内	2
心に残る授業	3
研究室だより	4
研究協力校紹介	5
教育講演会の紹介	5
受講後調査の結果	6
人事短信	7

随想

「オープン・フィールド」

昨秋、念願だった広島や岡山、香川など瀬戸内を巡る旅を堪能してきました。

先輩の勧めで訪れた直島をはじめ豊島、犬島など瀬戸内海の島々では、20年ほど前からアートによる地域活性化が進められ、3年に一度開催される瀬戸内国際芸術祭には国内外から100万人を超える集客があるそうです。

直島には、『かぼちゃ』（草間彌生）や『直島パヴィリオン』（藤本壮介）などが野外展示され、建築家安藤忠雄氏の手がけた美術館も11施設あります。とりわけ「地中美術館」は、その名の通り瀬戸内の美しい景観を損なわないよう建物の大半が地下に埋設されるというユニークさ。クロード・モネ、ウォルター・デ・マリア、ジェームズ・タレルの作品を最高の形で展示することを追究して設計され、世界中から多くのファンが訪れています。

定年退職後、年に数回美術館や博物館に足を運ぶようにはなったものの、もとより知識も薄く全くの素人の私ですが、これまでにないアート体験に強烈な衝撃を受けたのが、タレルの作品『オープン・フィールド』です。

上川教育研修センター
所長 石前 聖香



以下、ネタバレが過ぎない程度にご紹介。

展示室への入室は少人数に制限され、靴を脱いで暗い部屋を進むと、目前に階段が現れます。その正面には美しい光を放つ長方形が見えます。係員に促され、ゆっくりと階段を上ると、闇から光の空間へ身体が吸い込まれるような不思議な体験をすることになります。

芸術の真骨頂は想定外の出会いにあるのかもしれませんが。私たちは日常の中で目に映る現実を疑うことはまずありませんが、この作品に出会った瞬間、当たり前と信じていた感覚が見事に打ち破られます。ありえない！と混乱しつつ、なぜ？どうして？と探究心が沸き立つのを感じます。見たい、聞きたい、もっと知りたい・・・わくわくする心の動きこそ学びの原点ではないか、と改めて気付かされる体験でもありました。

上川教育研修センターの研修・研究事業が、管内教職員の皆様にとって、わくわくを生み、心が動く学びのフィールドとなることを願ってやみません。

富良野市立 扇山小学校



本校の総合的な学習の時間は、3年「自然・食」、4年「文化・福祉」、5年「国際理解・情報」から探究課題を設定し、6年「職業」を通して、富良野の未来について自分たちの考えを提案します。3年生は、森林サポーターと一緒に鳥沼公園で植物の観察を行いました。富良野の自然を学ぶだけでなく、なぜ森林サポーターになったのか、どうやったらなれるのか、その仕事にも子どもたちの興味は広がりました。

旭川市立 六合中学校



今年度の重点目標は、自分事として「考え」、仲間と「協働」し、豊かに「表現」する力の育成です。安心・安全と持続可能性を土台に、生徒が失敗を恐れず挑戦できる環境を整え、昨日の自分をアップデートする「自分更新」を支援しながら「わくわくが成功を引き寄せ、自分を更新し続ける学校」を目指しています。

わくわくする学びを通じて潜在能力を引き出し、生徒が確かな成長を実感できる学校を、保護者や地域の皆様と共に築いていきます。



夏だ！海だ！『研修』だ！！！！



夏季休業中の研修講座申込みを随時受け付けております。
クーラーの効いた当センター会場で研修を深めませんか？
受講を希望される場合は右の二次元コードからお申込みください。



開催日	研修講座名	備考
7月27日(月)	教育講演会	午後
7月28日(火)	幼保小連携教育	
7月29日(水)	外国語(英語)指導① やさしく学べる Google 活用術	午後 2日目：9月29日(火) ICT実技研修・午後
7月30日(木)	社会科指導① 今日からできる！データ活用術	午後 2日目：9月30日(水) ICT実技研修・午前
7月31日(金)	国語科指導① 理科指導①	午前 2日目：9月9日(水) 午後 2日目：10月22日(木)
8月3日(月)	やさしく学べる Google 活用術	ICT実技研修・午後
8月4日(火)	学校事務実務 今日からできる！データ活用術	ICT実技研修・午後



出前講座、申込み受付中！

教科指導をはじめ、生徒指導・特別支援教育・今日的な教育課題・ICT活用・各種実技指導など、各学校の校内研修や教育研究団体の様々なニーズに合わせて、選りすぐりの講師を派遣しています。予定している開設数までまだ空きがございます。特に上川管内の学校にお勧めです。以下の二次元コードよりお申込みください。

講座名	講座の具体的な内容
今日的な教育課題	学校力向上、幼保小連携、学習指導要領、保護者・地域との連携、小中連携、キャリア教育等
ICTの活用	タブレット端末の活用、表計算、画像・動画編集、プレゼンテーション、生成AI等
教科等指導 (国、数、英等)	道徳科指導、指導計画、評価、言語活動、校内研修に関わる事項等
各種実技指導	器械運動(体育)、木版画(図工・美術) リコーダー(音楽)、毛筆(書写)等
特別支援教育	合理的配慮、発達障害の理解、視覚認知の支援、個別の支援計画、効果的な指導実践の交流等
生徒指導	いじめ・不登校への対応、校内体制の確立、心理的支援、教育相談等



講座内容研究協議会



4月16日、上川教育研修センター研修講座の打合せ会議である「講座内容研究協議会」が研修センターにて開かれました。

開会式では、和田英邦 教育長よりご挨拶をいただきました。また、研修センターの貞弘真悟 副所長より、研修事業の報告と計画について、概要を説明いたしました。

研修センターでは、令和7年と8年の2年間を見通し、第18次研修講座として研修内容を計画しております。時代が大きく変わる中での教育において、さらに実りある研修、また、リアルタイムに学校の“今”に役立つ力となるよう講座内容の熟慮も重ねております。

多くの皆様の受講をお待ちしております。



センター日誌

4/1 新入所員着任
4/16 講座内容研究協議会
6/3 学校経営Ⅰ
6/16 研修センター公開授業Ⅰ
6/24 特別支援教育①
6/25 学級経営と児童生徒理解

6/26 読書活動
6/30 校務処理のデジタル化①
7/1 センターだより第153号発行

○毎週火曜日 定例研究室会議
○随時 研修講座講師打合せ会議



心に残る授業 その92

旭川市教育委員会
教育指導課 主査

樋口 奨



私には、心に残る授業がたくさんあります。中でも、私の授業改善のために、諸先輩方が「授業を見において!」「樋口学級を借りて授業してもよい?」と声を掛け、見せてくださった授業の数々は、格別です。

初任地の小学校で出逢った研究部長の先生は、教師主導の説明に終始していた私に対し、児童の思考に問いを生み出す問題提示の工夫について示してくださいました。特に、算数科において、問題文の一部を意図的に隠したり、誤答を取り上げたりするなど、児童の「解決したい!」という知的好奇心を掻き立てることの大切さを学びました。

教員5年目を迎え、異動先の小学校で出逢った教務主任の先生は、1単位時間の構成に奔走する私に対し、社会科1単元全ての授業を実践してくださいました。単元の学習計画を児童と共有して見通しをもたせること、時間や空間、人々の関係性に着目して資料を読み取らせること、まとめは児童自身の言葉で語らせることなど社会科の専門性ととともに、児童が主体となる授業づくりについて示してくださいました。

教員9年目を迎え、出逢った当時の教頭先生は、研究部長として学力向上と研修テーマの具現化に悩む私に対し、終末場面の重要性を説いてくださいました。

当時、私は、対話を重視するあまり、終末場面が駆け足になり、児童が学びを自覚する場面を十分に保障することができていませんでした。教頭先生は、理科の示範授業を通して、発問を精選して児童が主体的に活動できる時間を十分に保障するとともに、目的に正対した振り返り場面を設定することで児童自身が身に付けた資質・能力を自覚できる授業を示してくださいました。

未来を生き抜く子どもたちには、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働することが求められています。これは、目指すべき子どもの姿であると同時に、授業改善における教師の姿を示しているのではないのでしょうか。1つの授業には、目の前の子どもの学びを変えるだけでなく、バトンを受け継ぐ教師の人生をも変える力があるのだと思います。





令和8年度の研究について

上川教育研修センター 第21次研究1年次

研究室では、新しい2名の研究員を迎え、第21次研究の1年次をスタートさせました。昨年度までの、第20次研究の成果と課題を受けて、改めて「単元全体を見通した授業づくり」のあり方を整理し、「子どもの心が動く深い学び」を実現できるような単元デザインを研究していきます。6月、研究員による美瑛町立美瑛東小学校での「研修センター公開授業Ⅰ」からはじまり、9月と10月には、旭川市立神楽小学校と旭川市立明皇中学校の2校の協力校による授業実践、そして12月には研究員による2年間の研究のまとめとなる「研修センター公開授業Ⅱ」を、旭川市立広陵中学校で行い、研究内容について検証を行う予定になっています。

また、従来の研究授業向けの指導案と併せて、「主体的・対話的で深い学び」を日々の授業で実践するために、いつも手元に置いて活用することを目的とした新しい指導案の形を提案していきたいと考えています。今年度も、皆様と共に、「主体的・対話的で深い学び」について一緒に学んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

研究主題及び副主題

子どもの心が動く深い学びの実現
～単元全体を見通した授業づくりを通して～

求める児童生徒像

「知識及び技能」を習得し、「思考力・判断力・表現力等」を高め、「学びに向かう力・人間性等」を涵養し、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら深い学びに向かっていく児童生徒。

研究の仮説

「主体的・対話的で深い学び」の視点で単元全体を見通した授業づくりを行うことで、児童生徒の学習や教師による指導の改善等につなげ、組織的かつ計画的に教育活動の質が向上し、児童生徒に求められる資質・能力が育成されるであろう。

研究内容

研究内容1 「主体的な学びにつながる」児童生徒の問い

- ・ 事象との出会い、他者との交流、既習事項との比較などによって児童生徒に「問い」を生む教師の働きかけの工夫
- ・ 児童生徒に生まれた問いを、学習活動のきっかけや意味付けとなるように生かす教師の働きかけの工夫

研究内容2 「個の学びを深める」対話・協働

- ・ 個人の考えを表出したり、他者の考えと比較したりすることによって、個人の考えに変容が生まれる対話・協働的な場面の在り方の工夫

ICTの効果的な活用

- ・ 多様で大量の情報の収集、整理・分析、まとめ、表現
- ・ 児童生徒の思考の過程や結果の可視化
- ・ 情報の双方向性による瞬時の情報共有 等

研究室では、週に1回、上川教育研修センターにて研究室会議を行い、上川管内の先生方にお伝えする研究内容を協議しております。





令和8年度「研究協力校」の紹介

旭川市立神楽小学校

1 学校概要

旭川市南部に位置し、開校105周年目を迎える歴史ある学校です。子どもたちは、自然と文化・スポーツ施設が調和した地域環境の中で公民館・博物館と連携を図った学社融合による教育活動、神楽公民館百寿大学との交流など、地域の特性を生かした特色ある教育活動を通して豊かな知識とたくましい心身を育てています。

2 教育目標

「未来に向かって進んで学び たくましく生きる子どもの育成」
～考える子 助け合う子 じょうぶな子～

3 年度の重点

「主体的・協働的に学び、粘り強く心と体を鍛え、地域を愛する子どもの育成」

神楽中・神楽岡小・神楽小の3校共通目標のもと、「チーム神楽小」として信頼と連携を深め、協働体制の確立を目指します。自らの課題に挑戦する心と想像力を育むとともに、教職員が専門性を高め地域と連携して課題解決にあたります。「子どもも先生も主役」という経営の基本方針の下、全教職員が知恵を出し合い、児童が明日を心待ちにし、教職員が働きがいを実感できる、笑顔と充実感、達成感があふれる笑楽校（しょうがっこう）づくりを推進します。



旭川市立明星中学校

1 学校概要

昭和22年5月1日に、旭川市立第三中学校（中央小に併置）と旭川市立第八中学校（道立旭川中学校の校舎の一部を借用し発足）として開校。翌昭和23年4月に2校を併合し、現在地にあった旧養正国民学校校舎に移転し「明星中学校」として出発しました。校名は宵の夜空、明けの高空にひときわ輝く明星（金星：ヴィーナス）に栄光あれという祈りをこめてつけられたものです。

2 校訓

知と和と粘り

3 年度の重点

- ・ Think & Create : 「知の羅針盤」で深く探求し、新しい価値を創造する
- ・ Connect & Respect : 「和の対話力」で多様性を尊重し、共に未来を築く
- ・ Challenge & Grow : 「粘りの復元力」で失敗を恐れず、最後までやり抜く



今年度の教育講演会

今年度の教育講演会は、元文部科学省教科調査官を務められた渋谷一典先生（現札幌市立北園小学校 校長）をお招きし、学習指導要領の改訂の方向性についてお話しいたします。

令和8年度内の中央教育審議会答申・改訂、そして令和9年度には新学習指導要領が告示され、小中学校での周知・移行期間となっています。

今回の改訂では何が大きく変わるのか、これまでの教育活動とこれからの教育活動で何を重視していけばよいのか、という視点で具体的なお話を頂きます。

学校現場として、大変関心のあるこの話題を、ご自身の専門である生活科・総合的な学習の時間の授業づくりや実践をもとに伺える貴重な機会となります。

どうぞこの機会をお見逃しなく、ご参加いただき、今後の教育の在り方について共に考えましょう。

令和8年度
一般講座

教育講演会

講師

渋谷 一典

札幌市立北園小学校 校長
前 北海道教育大学教職大学院札幌校・教授
(元 文部科学省初等中等教育局教育課程課・教科調査官)

日時

7月27日(日) 13:30～

会場

上川教育研修センター 講堂

※オンラインでの受講も可能です。

演題

『学習指導要領
改訂の方向性』



上川教育研修センター
〒070-0036 旭川市6条通4丁目

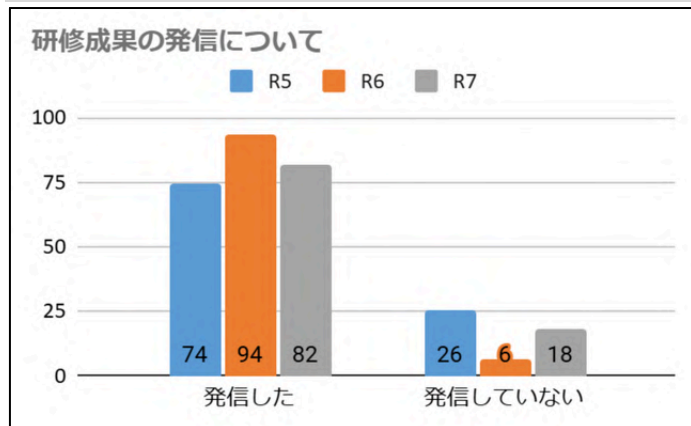
試そう上川の力
創ろう上川の力
生かそう上川の力

令和7年度 受講後調査の集計結果 ～御協力ありがとうございました～

当研修センターでは、研修講座の受講後2か月を目処に御回答いただく「受講後調査」を実施しました。お忙しい中にもかかわらず御協力をいただき、ありがとうございました。令和7年度の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

今年度は、メール配信で回答をお願いしたため、例年より多くの方に御回答いただきました。

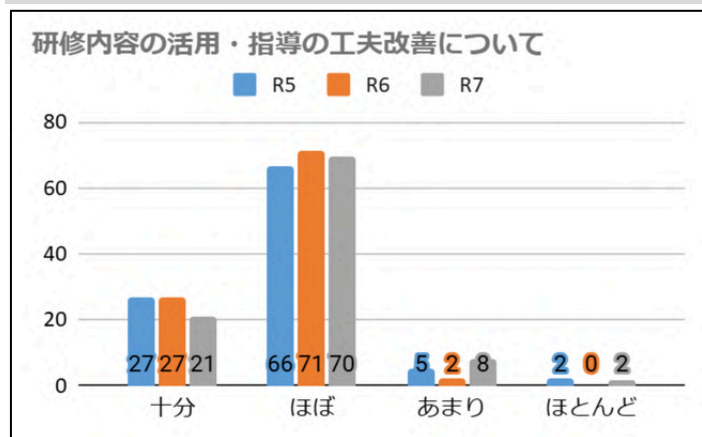
設問1 研修終了後、児童生徒や同僚教職員、他の学校の教職員等に研修成果を発信することができましたか。



研修の成果について、昨年度と比べ数値が若干減少しましたが、多くの方に活用していただいております。

受講者はもとより、広く教育現場に活かされるよう、より多くの方に発信していただける講座運営を目指し、工夫改善して参ります。

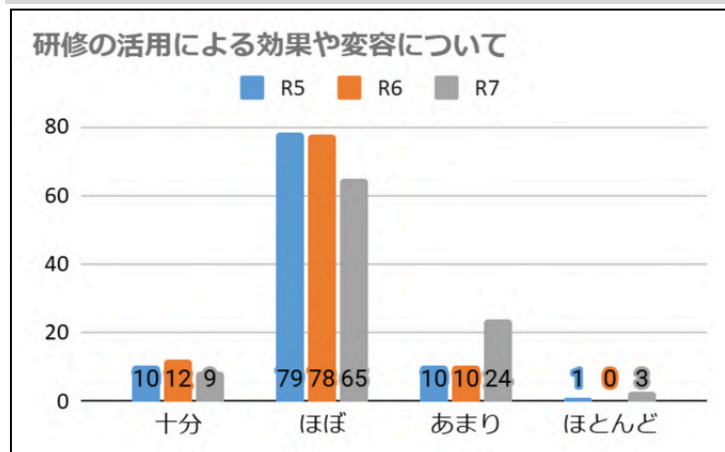
設問2 研修終了後、自校や校外研修会等で、研修内容を活用し、自己の指導内容や方法の工夫改善ができましたか。



91%の受講者から自己の指導内容や方法の工夫改善ができたという肯定的な回答をいただきました。

今後もさらに多くの皆様が実践に活かすことができるよう、教育現場の実態に即した講座づくりに努めて参ります。

設問3 研修内容を広げたり活用したりした結果、児童生徒や対象の教職員に効果や変容がみられましたか。



74%の受講者から効果や変容がみられたという回答をいただきました。反面、効果が感じられないという回答も4分の1程度みられ、講座の2次的な影響への工夫が今後必要と感じられる結果となりました。受講アンケートを活かしながら、より実践的な研修内容とするよう努めて参ります。

講座の成果を推し測り、より多くの方々の御意見を反映するため、当研修センターのWebサイトや二次元コードから簡単にアクセスできるようにしております。
今年度も2か月を目処に御回答ください。
※令和7年度から、受講の2か月後に受講後アンケートのお願いのメールを発信しています。御協力をよろしくお願いいたします。

「受講後調査」
二次元コード





上川教育研修センター 所員紹介

新たに4名を迎え、15名で活動します。

指導員

今村 恭子

(旭川市立北星中)



各講座が皆様にとって有意義な時間になりますよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

ICT指導員

宮下隆太郎

(鷹栖町立鷹栖中)



指導員として初年度となります。研修センターの運営に尽力させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

研究員

東 大樹

(旭川市立大有小)



上川管内の各学校や先生方に御活用いただける研究を目指し、精一杯努力してまいります。よろしくお願いいたします。

研究員

柴田 祐希

(旭川市立神居中)



上川管内の各学校、先生方に少しでもお役に立てるよう努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

所長

石前 聖香



副所長

貞弘 真悟



研究部長

太田 貴幸



事務部長

北澤 克康



事務係

上光さゆり



指導員

児玉 考弘

(愛別中)



指導員

勝瀬 駿太

(西神楽中)



研究員

林 裕生

(神楽岡小)



研究員

林 尚輝

(附属旭川中)



研究員

相澤 正一

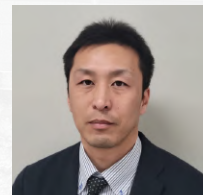
(美瑛東小)



研究員

林 走

(広陵中)



退任 今までの勤務お疲れ様でした。

前指導員

野尻 佳世 (旭川市立愛宕中)

前研究員

荒木 健地 (旭川市立北門中)

前ICT指導員

久須美克典 (旭川市立緑が丘中)

前研究員

河野 翼 (旭川市立朝日小)



今年度の開催要項、研究部作成の研究紀要はこちらの二次元コードからホームページをご確認ください。

発行日

令和8年7月1日

発行

上川教育研修センター

〒070-0036 旭川市6条通4丁目

TEL 0166-24-2501

責任者

石前 聖香